

# わがむらの昔ばなし

## 三隅八幡宮の森を探る

三隅町郷土文化研究会 会長 大谷 忠義

(一) 境内の巨樹群について  
八幡宮は、昔から弓矢の神として、武士の信仰を厚くしている。またわれわれ町民の氏神様として、古来一方ならぬ崇敬を集めている。八幡宮の森は私たちのこころのふるさとであるが樹木の種類と名前になるかわかりにくいと思う。昨年、十二月十四日の調査結果を掲げると、次のとおりである。

和名	目通り 幹囲	地上1m 幹囲	高さ
イチヨウ	3.16m	3.25m	22.0m
イチヨウ	2.88m	3.02m	22.5m
イチヨウ	2.84m	3.00m	22.5m
イチヨウ	2.54m	2.65m	19.5m
ムクノキ	3.68m	3.80m	8.50m
ムクノキ	3.43m	3.88m	8.50m
モミ	2.03m	2.17m	20.3m
モミ	1.78m	1.87m	19.0m
モミ	1.58m	1.71m	17.5m
モミ	1.51m	1.63m	17.5m
モミ	1.42m	1.51m	17.5m

そのほか境内には、クスノキ、ヤブニッケイ、オガタマ

オガタマノキ、サカキカズラ、クスノキ、アリドウシ、ア

ノキ、ヤブツバキ、サカキ、クロガネモチ、イヌマキ、スギなどの常緑樹、ソメイヨシノ、クリ、イヌビワ、ハコネウツギなどの落葉樹、フジ、テイカカズラ、ビナンカズラなどのつる性植物、オニヤブソテツ、シケシダ、ミゾシダなどのシダ植物も見られる。

(二) 本殿裏山の社叢について  
裏山の社叢は、急な上り坂になっており、風当りも相当強いが、見事な植生が見られる。スダジイ・アオキ群落で、高木層にはスダジイの巨樹がこんもりと茂っており、低木層にはアオキ、アリドウシが極めてよく発達している。いわゆる暖帯照葉樹林の特徴を示すものとして貴重なものである。

特記すべき植物には、オガタマノキ、サカキカズラ、ア

### 町民文芸

#### 俳句

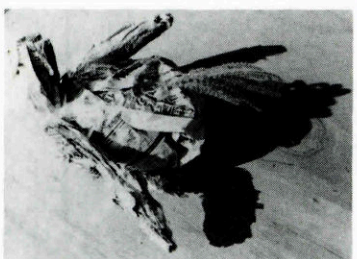
清風句会 (十一月)

#### 短歌

三隅短歌会 (十一月)

さや豆のはじけ席の小春かな 因藤 兔史  
 狭庭とて石落花映ゆる昨日今日 岡 松月  
 初時雨師に手引かれし瑠璃光寺 宮永ミネ子  
 津和野路や匂子惚ばれ石路の花 山崎 菊女  
 楊貴妃の墓の梵字に蔦紅葉 笹見 梅雪  
 園児らの観音参りや初時雨 岩本さつき  
 苔のむす祠に侍べる石路の花 大深 八重  
 降りしきる黄葉参道華やける 田村 九重  
 無住寺に出迎へくれし石路の花 山口 重女  
 選者 追吟 永田 石仏

木枯しの風吹き渡る山なだり黄に光り返す石路の花 石村 栄助  
 乱視なれど軽症ゆえか玻璃越しの部屋に見えたる赤きコスモス 伊藤 一郎  
 花の荷をもちつつバスを降りゆけり秋のかおりを人は残して 岡 松子  
 すくも焼く煙たなびき家々の灯つつみて晩秋の日暮るる 平川 育子  
 燃ゆる緋と映ゆる黄の葉の舞いおる山路わけ入りせせらぎを聴く 堀 光太郎  
 我一人残してゆきし兄弟しのびて五十回忌終ふ 田中 信江  
 軒下のひょうたんゆすりゆく風の残ししひと葉あざやかに見ゆ 臼井 麻子  
 もみじ葉のひと葉ひと葉は生き生きとおのが色もて大樹いろごる



にわとり



柳田大介くん(6歳) 宗頭